



第20回 日本・スペイン・シンポジウム XX FORO ESPAÑA JAPÓN

2018.11.21-23 YAMAGUCHI



外務省・山口県・山口市・宇部市共催

Organiza: Ministry of Foreign Affairs of Japan/Yamaguchi Prefecture・Yamaguchi City・Ube City

第20回 日本・スペイン・シンポジウム

日本スペイン外交関係樹立150周年のその先へ ～自由貿易，イノベーション及びソフトパワーにおける協力～

本年，日本とスペインは外交関係樹立150周年を迎える。この記念すべき年は，両国間の交流の現状を見直すだけでなく，近い将来に両国間で共有する機会について議論するまたとないチャンスである。

本年，両国の外務省及び大使館並びに官民の組織が注力し，両国の様々な都市において約500の周年行事が実施された。ラウンドテーブル，文化イベント，セミナー，文化・経済・科学・社会に関する展示会等は，両国国民の大いなる関心を示すものである。

今次シンポジウムは，外交関係樹立150周年の機会に，両国社会の更なる繁栄の希望を具体化するために実施される。政治・経済界のリーダーや有識者が集い，以下の3分野に関し協議するための貴重な場となる。

- 1 先日署名された日EU・EPAは，国際経済の構造及び現在世界で対抗するグローバリズムと保護主義という2つの大きな潮流の現状に関する分析に資する。
- 2 イノベーション，技術，教育，企業家精神は，両国の社会と企業の更なる成長と国際秩序における役割の維持を可能とする。これを可能とするために我々が整備すべき環境，地方の役割，日本とスペインが用いる手法及び民間部門の期待する手法を分析する。
- 3 自らの良いイメージを普及させる「ソフトパワー」を通じた訴求の重要性は再認識されている。スペインと日本は同分野で如何なる手を打つべきか，文化・メディアがグローバル化された世界に影響を与えるために果たす役割は如何なるものか等を議論する。

日本とスペインは，民主主義，法の支配，自由貿易といった基本的価値を共有する重要なパートナーである。本シンポジウムは，二国間，もしくはこれら特定の分野で活動を行う企業，大学，機関，専門家の関心事項を提供する特別な対話のための場である。

かつて，室町時代には聖フランシスコ・サビエルがキリスト教を布教し，近代日本の礎を築いた明治維新の舞台ともなった山口が，記念すべき年のシンポジウムの開催地となる。

日程（場所：山口県宇部市及び山口市）

11月21日（水）

16:30 - 18:30 山口市市内視察

19:00 - 21:00 2018日本・スペイン・シンポジウム in 山口実行委員会主催交流会
（於：山口市ホテルかめ福）

11月22日（木）（於：ホテル・ニュータナカ）

08:30 - 09:00 受付

09:00 - 09:30 開会式

- ・安倍 晋三 内閣総理大臣（ビデオメッセージ）
- ・山田 賢司 外務大臣政務官
- ・村岡 嗣政 山口県知事
- ・アナ・サロモン 外務・EU・協力省北米・東欧・アジア太平洋局長
- ・ジョゼップ・ピケ スペイン側座長（元外務・協力大臣）
- ・横山 進一 日本側座長（住友生命保険相互会社特別名誉顧問）

09:30 - 10:30

セッション1 「日本とスペイン：自由貿易の促進に向けて」

日本とEUは、2018年7月、これまでで最も大規模な貿易協定に署名し、世界のGDPの約3分の1と約6億人の人口を抱える巨大自由貿易圏が形成されることとなった。この協定は、日本とEUによる、法に基づいた自由貿易の推進に向けてのメッセージとなるとともに、近年の保護主義の波に対する明確なメッセージとなった。

ここでは、同協定が日本とEU及び世界に対して及ぼす影響に注目しつつ、日本とスペイン及び日本とEUの今後の政治・経済的な関係を分析する。

モデレーター：

- ・アウレア・モルト「外交政策」副編集長

パネリスト：

- ・伊藤 元重 学習院大学国際社会科学部教授
- ・ジョゼップ・ピケ 日本・スペイン・シンポジウム
スペイン側座長（元外務・協力大臣）

（コーヒー・ブレイク）

11:00-13:15

セッション2 「イノベーション、研究と企業家精神、 繁栄の秘訣」

第4次産業革命の中、日本とスペインにとっての喫緊の課題は、両国社会におけるイノベーション、研究、企業家精神を通じた成長と競争力向上の促進である。本セッションでは、新たな産業の誕生に資する環境はどのようなものか、革新的社会を生む公共政策は何か、革新的なスタートアップ企業、中小企業、大企業がグローバル化した世界で競争するためには、どのような支援を要するか、地方のイノベーション促進のための方途と課題は何か、スペインと日本は先進分野の企業に機会を提供しうるか等について議論する。

11:00-12:30 パネル・ディスカッション

モデレーター：

- ・渡部 俊也 東京大学大学執行役・副学長，
政策ビジョン研究センター教授

パネリスト：

- ・吉村 猛 山口フィナンシャルグループ代表取締役社長
- ・石山 洸 エクサウィザーズ代表取締役社長
- ・アレックス・ポンス COTEC財団イノベーション経済部長
- ・ダビッド・アラジョン INNUBA社，
MINDNET社共同創設者
- ・ハビエル・クレウス IDEAS FOR CHANGE創設者

12:30-12:45 休憩

12:45-13:15 質疑応答

13:30-14:45

外務省主催昼食会 (於：ホテル・ニュータナカ)

15:00-17:15

セッション3 「両国のソフトパワーの影響と訴求力」

一国の印象は、国際的に活動する全ての官民のアクターに影響を及ぼすことから、自らの良いイメージを普及させる「ソフトパワー」を通じた訴求の重要性は再認識されている。本セッションでは、日本とスペインは同分野で如何なる手を打つべきか、文化・メディアがグローバル化された世界に影響を与えるために果たす役割は如何なるものか等について議論する。また、日本とスペインがそれぞれの戦略を共有するとともに、政治的コミュニケーション、製品のマーケティング、企業の評価から学びを得つつ、どのように各国のイメージを向上できるかを分析する。

15:00-16:30 パネル・ディスカッション

モデレーター：

- ・中村 伊知哉 慶應義塾大学大学院メディアデザイン研究科 (KMD) 教授

パネリスト：

- ・伊藤 元重 学習院大学国際社会科学部教授
- ・宮川 学 外務省国際文化交流審議官
- ・佐藤 一毅 国際オタクイベント協会代表
- ・マリア・アスンシオン・ソリアノ ATREVIA スペイン社社長
- ・アンドレ・バディージョ エルカノ王立財団言語・文化研究家

16:30-16:45 休憩

16:45-17:15 質疑応答

17:15-17:30

閉会式

- ・横山 進一 日本側座長 (住友生命保険相互会社特別名誉顧問)
- ・ジョゼップ・ピケ スペイン側座長 (元外務・協力大臣)

19:30-21:00

2018日本・スペイン・シンポジウム in 山口実行委員会主催レセプション
(於：宇部市ときわミュージアム)

11月23日 (金・祝日)

9:30

山口市・宇部市市内視察

12:30-14:00

横山座長主催昼食会 (於：ココランド (宇部市))